



峰台小学校 保健室

保護者の方へ

日頃より学校教育活動にご理解、ご協力をいただきありがとうございます。

今年度も1月29日（木）、学校保健委員会として助産師の方をお招きし「いのちの学習」を開催しました。児童向けの講座の後保護者向けのお話がありました。

当日は暖房の入った体育館で、子供たちは皆集中して講座に参加していました。保護者の皆様も多数参観いただき、ありがとうございました。

講座の内容、参加者の感想を一部抜粋してご紹介します。子供たちの感想に保護者の方がメッセージを書いてくださいました。読んでいて胸いっぱいになるような素敵な言葉。おうちの方の温かい気持ちが溢れた内容に改めて大切な命をお預かりしていることを痛感し、身の引き締まる思いです。今後もおうちの方々と子供たちの成長を見守っていける幸せをかみしめました。

講師が伝えたこと

- ・いのちはとても大切に一度失うと二度と元には戻らない。
- ・生きることを選び取るためにお母さんのお腹の中で急成長し、全身の力を振り絞って産声をあげたこと。
- ・あなたはみんなから待ち望まれて生まれてきた世界でたった一つの宝物。だから無条件であなたの事が好きな人がたくさんいる。
- ・「生きる力」を持って生まれ、周りのみんなに幸せと喜びを与えている。
- ・いのちを大切にすることとは、自分を大切にし、自分を大切にできる人は周りのお友達を大切にできる。
- ・だから「生きているだけで100点満点！」
- ・誕生日はあなたが生まれた大切な日、「いのちの記念日」です。自分が生まれた時の事、今日まで成長できたことを家族と話せると素敵な Birthday ですね。



感想

5年生

- ・いのちは点数で表せないと思いました。これからいのちが始まり、いのちが終わることを世界は繰り返していくんだと思いました。
- ・小さい頃の自分やお母さんとお父さんのメッセージなど、昔のものを見て、自分はすごく恵まれているということがよくわかり感謝の気持ちでいっぱいになりました。
- ・生きるということはとても大切だということがわかりました。人は簡単に死にたいと思っちゃだめだと思いました。
- ・自分は生きているだけで100点満点なので、これからも元気に成長して生きていきたいと思う。できるだけ人生を長く生きる。
- ・「生きているだけで100点満点！」を聞いたとき、なにか特技やすごいことができなくてもいいんだ！という自信につながりました。
- ・前はあまり自分に対して大切だと思っていなかったけれど、授業を受けてこれからもっと大切にしようと思いました。

- ・友達や家族や他の人に会えるのは当たり前だと思っていたけど、もしかしたら会えてなかったかもしれないと思うと、人生って最高だと思いました。
- ・もしいやな気持ちになっても、そもそも産まれてきたことがとても素晴らしいから、これから自分がどんなにダメだと思っても、生きていることがすごく素晴らしいと思い楽しく人生を進んでいくのが大切だと分かりました。
- ・いのちは他の誰にも作れない大切なものだとわかった。
- ・自分を大切にできているから今後はもっとお友達を大切にしたい。
- ・自分がたった一つの宝物といわれてとてもうれしく思いました。今安全に過ごせていることにすごく沢山の人の感謝しています。
- ・今日聞いた話を早くお母さんに伝えて、自分はどんな感じで産まれたのかとか、詳しいことを沢山聞きたい。
- ・自分や家族などの人たちが産まれたい・産みたい・産んで欲しいと思って産まれた大切な命で、それは親だって大切にしている命だから、これまで以上に自分の命を大切に守っていきたいと思った。親にも自分の命を大切に死ねまで生き続けて欲しいと思った。
- ・人が産まれるには沢山の奇跡があったことがわかりました。
- ・昔「僕なんて死ねば・・・」と思ったことがありました。ですがこの授業でこんな苦労があってからこそ産まれてきた（奇跡）が「あってよかったな」と思えました。
- ・精一杯生きているだけで100点満点と知った。自分も頑張ったし、お母さんも頑張ったと実感した。



参観して下さった保護者の方



- ・改めて、自分の妊娠したことを思い出し、子供もすごく頑張っていたんだと振り返ることができた。また、子供とじっくり話す機会がなく、今日のことを話して子供との会話を増やしていきたいです。
- ・家でも生まれてきてくれてありがとう！」と伝えることはありますが、このような場で聞くことはまた改めて子供に響くと思います。
- ・いのちの尊さ生まれてくる奇跡、わかってはいたつもりでしたが、お話を聞いて改めて痛感しました。「生きているだけで100点満点！」子供に沢山声かけしようと思いました。
- ・生まれたときのことを思い出して幸せな気持ちになりました。
- ・これからの息子の人生、家族の時間にとって大切なお話が聞けました。
- ・赤ちゃんの頃のことを思い出して優しくしてあげたいです。上に兄弟がいる子など、性について話しているようなので、尊いんだとふざけずに真面目に伝えたいです。



本校では発達段階に応じて、2・4・5年生に命や性に関する授業を実施しています。（道徳をはじめ他の教科でも心や体に関することは学習します）特に5年生は理科「人の誕生」の授業後、命を生み出す専門職である助産師さんからの話を聞きます。自分の誕生を知ることは自分の存在を丸ごと肯定すること。どんなときでも自分自身を受け入れる人生を歩んでほしいと願い、未来を見据えて学習を計画しています。

今回の保護者の方々からの返信を読ませていただき、改めて一人ひとりが大切な宝物であると身の引き締まる思いです。今後も家庭・学校・地域一丸となって峰っ子たちを応援できますように。よろしくお願いいたします。